



第 50 回 愛媛形成外科研修会

抄 録 集

日 時 令和 5 年 6 月 10 日（土）16 時 00 分～

場 所 ANA クラウンプラザホテル松山 ガーネットルーム

愛媛県松山市一番町 3 丁目 2-1

TEL : 089-933-5511 (代)

当番世話人

四国がんセンター 形成外科 山下 昌宏

第 50 回 愛媛形成外科研修会

研修会について

1. 参加受付は、15 時 30 分より会場で行います。

2. 参加費として 2,000 円を受付にて申し受けます。

今回の特別講演は、日本形成外科学会の「領域講習」に認定されております。

「領域講習」として受講される専門医の方は受講料として 1,000 円を申し受けます。

3. 演者の方でまだ研修会会員でない先生は、入会の手続きをお取りください。

4. 一般演題での発表時間は、一題あたり 5 分と 3 分、質疑応答は 3 分を予定しています。

5. PC は Windows 10、PowerPoint を使用しての発表になります。なお、OS、バージョン等の影響で調整等が必要になる場合があります（当日は、USB メモリーあるいは PC 本体をお持ちください）。

6. 当日、ホテルおよび契約駐車場をご利用の方は、駐車券を受付までお持ちください。

※3 時間まで無料となります。

懇親会について

1. 研修会終了後、隣のダイヤモンドボールホールにて懇親会を行います。

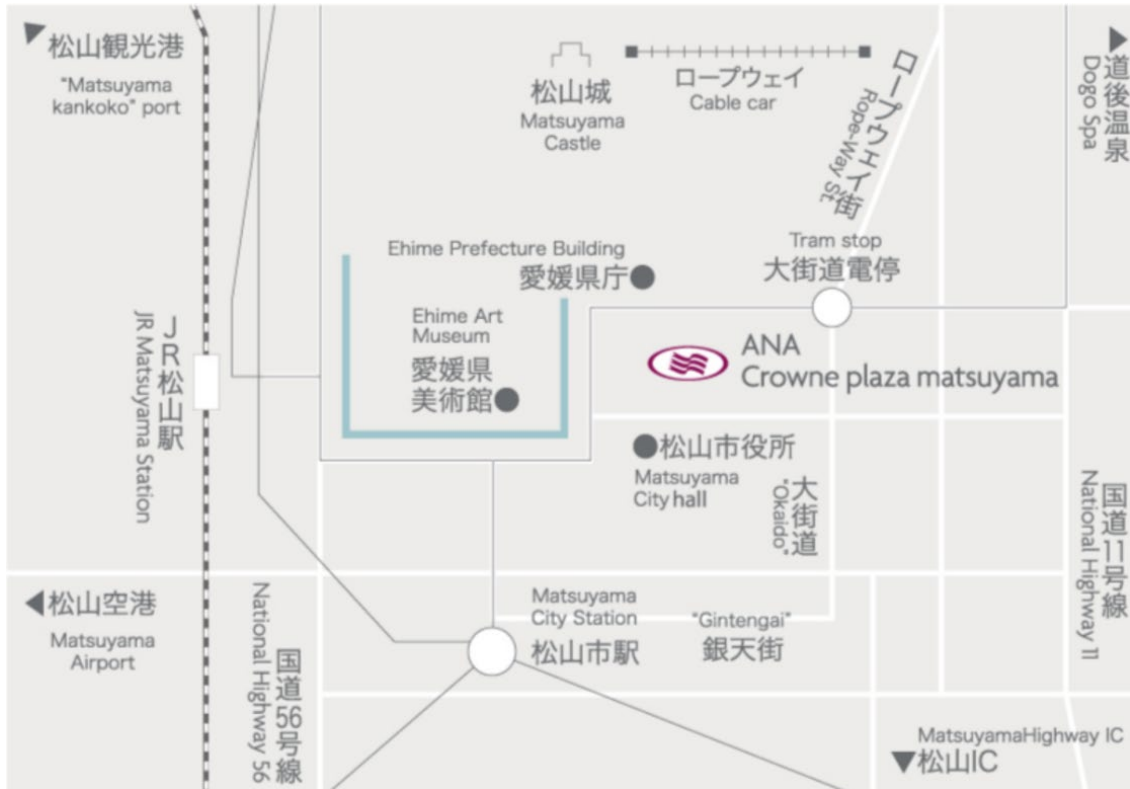
会 歴

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 1 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	松山成人病センター	平成 10 年 7 月 4 日	15 名
第 2 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会研修所	平成 10 年 12 月 5 日	17 名
第 3 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病センター	平成 11 年 6 月 19 日	20 名
第 4 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 11 年 11 月 27 日	19 名
第 5 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 12 年 6 月 24 日	17 名
第 6 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 12 年 12 月 9 日	20 名
第 7 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 13 年 6 月 23 日	23 名
第 8 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 13 年 12 月 8 日	23 名
第 9 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 14 年 6 月 8 日	27 名
第 10 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 14 年 12 月 14 日	27 名
第 11 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 15 年 6 月 28 日	25 名
第 12 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 15 年 12 月 13 日	25 名
第 13 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 16 年 6 月 26 日	26 名
第 14 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 16 年 12 月 4 日	29 名
第 15 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 17 年 6 月 18 日	31 名
第 16 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 17 年 12 月 10 日	35 名
第 17 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 18 年 6 月 24 日	31 名
第 18 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 18 年 12 月 9 日	26 名
第 19 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 19 年 6 月 16 日	37 名
第 20 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 19 年 12 月 15 日	30 名

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 21 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 20 年 6 月 14 日	30 名
第 22 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 20 年 12 月 6 日	30 名
第 23 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 21 年 6 月 27 日	32 名
第 24 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 21 年 12 月 12 日	28 名
第 25 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 22 年 6 月 19 日	34 名
第 26 回	田中 伸二 (石川病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 22 年 12 月 11 日	30 名
第 27 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 23 年 6 月 18 日	31 名
第 28 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 23 年 11 月 26 日	25 名
第 29 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	えひめ共済会館 4 階 末広	平成 24 年 6 月 23 日	34 名
第 30 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 24 年 12 月 1 日	26 名
第 31 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 25 年 6 月 22 日	36 名
第 32 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	にぎたつ会館 2 階 楓の間	平成 25 年 11 月 30 日	30 名
第 33 回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 26 年 6 月 21 日	32 名
第 34 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 新館カンファレンス会議室	平成 26 年 11 月 29 日	32 名
第 35 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 27 年 6 月 27 日	36 名
第 36 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 27 年 11 月 21 日	27 名
第 37 回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2 階多目的ホール	平成 28 年 6 月 11 日	32 名
第 38 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 28 年 12 月 10 日	30 名
第 39 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 3 階中会議室①②	平成 29 年 6 月 24 日	36 名
第 40 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 本館 3 階研修室	平成 29 年 12 月 9 日	32 名

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 41 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4 階多目的ホール	平成 30 年 6 月 9 日	27 名
第 42 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 30 年 12 月 1 日	28 名
第 43 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	令和元年 6 月 22 日	31 名
第 44 回	中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 管理棟 1 階 講堂	令和元年 12 月 7 日	37 名
第 45 回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	オンライン開催	令和 2 年 12 月 12 日	28 名
第 46 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	オンライン開催	令和 3 年 6 月 12 日	35 名
第 47 回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2 階 多目的ホール	令和 3 年 12 月 4 日	23 名
第 48 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4 階多目的ホール	令和 4 年 6 月 4 日	32 名
第 49 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	令和 4 年 11 月 19 日	31 名

ANA クラウンプラザホテル松山へのアクセス



駐車場

●ホテル駐車場

①ANAクラウンプラザホテル松山 地下2階

※駐車場入口はホテル西側にございます。

※満車時は下記の契約駐車場をご案内いたします。

●契約駐車場※ホテル駐車場が満車の場合

■宿泊・飲食・宴会・会議・婚礼・AVAのお客様

②フラワーパーキング2番町店WEST

③フラワーパーキング

■宿泊のお客様のみ

④番町パーキング

⑤お城下パーキング



愛媛県松山市一番町 3 丁目 2-1 TEL:089-933-5511 (代)

プ ロ グ ラ ム

Section I (16:00~16:45)

座長:愛媛大学医学部附属病院 形成外科 戸澤 麻美 先生

1. 陰嚢平滑筋腫切除の経験 (3 分)

四国がんセンター 形成外科 辻口 大介

2. 診断に難渋し血管肉腫様の経過をたどった側頭部皮下腫瘍の一例 (5 分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 浅野 遥奈 他

3. 陰茎基部の乳房外 Paget 病の切除後、陰嚢辺縁の白斑で再発を来した 1 例 (5 分)

松山赤十字病院 形成外科 井上 拓人

4. 心不全をきたした type2AVM に対して塞栓術を施行し、心機能の改善が見られた 1 例 (5 分)

愛媛大学医学部附属病院 形成外科 船木 杏奈 他

5. 徳島赤十字病院形成外科における最近 10 年間の乳房外パジェット病について (5 分)

HITO 病院 形成外科 山中 健生

6. 縫合糸 クレヨンラピッド®の使用経験 (3 分)

松山市民病院 形成外科 上村 由美子 他

Section II (16:45~17:25)

座長:愛媛大学医学部附属病院 形成外科 森 秀樹 先生

7. 多くの合併症を持つ高年齢者特殊領域熱傷の 1 例 (5 分)

愛媛県立中央病院 形成外科 中川 浩志 他

8. PVL 産生型 MRSA により多発皮下膿瘍を生じた 1 例 (5 分)

住友別子病院 形成外科 安藤 穂南 他

9. 臍露出を伴う手背皮膚欠損創に対して上腕部からの PAT 移植と全層植皮を行った 1 例 (3 分)

松山市民病院 形成外科 川野 貴大 他

10. 長期透析患者に発症した結節性偽痛風の 1 例 (5 分)

笠岡第一病院 形成外科 河村 進 他

11. 1998 年 7 月 4 日, 第 1 回愛媛形成外科研修会の様子 (3 分)

広島大学病院 形成外科 永松 将吾 他

休憩 (10 分)

総会 (17:35~17:45)

特別講演 (17:45~18:45)

座長:四国がんセンター 山下 昌宏 先生

「マイクロは身を助け、身を守る」

講師:三井記念病院 形成外科・再建外科 棚倉 健太 先生

共催: 松山形成外科医会 愛媛形成外科医会

Section I (16:00~16:45)

座長:愛媛大学医学部附属病院 形成外科 戸澤 麻美 先生

1. 陰嚢平滑筋種切除の経験

四国がんセンター 形成外科

○辻口 大介

(3 分)

症例は 66 歳の男性。陰嚢部の皮下硬結のため当科紹介受診。陰嚢壁に、陰嚢内臓器とは関係のない、直径 2cm 大の平滑な皮下腫瘤を認めた。全切除生検を施行したところ陰嚢平滑筋種の診断であった。陰嚢平滑筋種は発症頻度の低い良性腫瘍であるが、悪性腫瘍である陰嚢平滑筋肉腫との鑑別が必要となるため、若干の文献的考察を加えて報告する。

2. 診断に難渋し血管肉腫様の経過をたどった側頭部皮下腫瘍の一例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○浅野 遥奈、戸澤 麻美、船木 杏奈、泉本 真美子、村上 達郎、森 秀樹

(5 分)

46 歳女性。数年前より自覚する右側頭部の皮下硬結が増大し、疼痛を伴うようになった。前医で生検するも診断に至らず当科紹介受診した。診断目的に摘出術施行し、良性の血管腫が疑われた。確定診断目的に外部検査機関に診断を依頼し、中間悪性の網状血管内皮腫が疑われたため拡大切除を行うも、初回手術より 8 か月で肺転移を認めた。診断に難渋し血管肉腫様の経過をたどった症例を経験したため、若干の文献的考察を加え報告する。

3. 陰茎基部の乳房外 Paget 病の切除後、陰嚢辺縁の白斑で再発を来した 1 例

松山赤十字病院 形成外科

○井上 拓人

(5 分)

76 歳男性。左陰嚢部基部の乳房外 Paget 病 (以下 EMPD) に対して、切除、植皮術を試行し切除断端の陰性を確認した。術後 4 年半後、陰嚢周囲の 4 箇所、前回の腫瘍と連続性がない部位に脱色素斑が生じた。4 箇所皮膚生検を行った所、全ての組織で Paget 細胞を認めた。本症例について文献的考察を加えて報告する。

4. 心不全をきたした type2AVM に対して塞栓術を施行し、心機能の改善が見られた 1 例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科¹⁾、市立宇和島病院 形成外科²⁾、

四国がんセンター 形成外科³⁾、南松山病院 形成外科⁴⁾、杏林大学 放射線科⁵⁾

千葉がんセンター 形成外科⁶⁾、愛媛大学医学部附属病院 小児科⁷⁾

○船木 杏奈¹⁾、森 秀樹¹⁾、浅野 遥奈¹⁾、泉本 真美子¹⁾、眞田 紗代子²⁾、松本 麻由³⁾、

戸澤 麻美¹⁾、中岡 啓喜⁴⁾、小野澤 志郎⁵⁾、大内 邦枝⁶⁾、高田 秀美⁷⁾

(5 分)

10 歳男児。出生時より認める右頸部動静脈奇形に対してコイル塞栓療法が施行されていたが改善乏しく心不全をきたし、日常生活では運動も制限されていた。今回、病変に対し Dominant outflow vein(DOV)に対する塞栓術を行い、術後心機能が著明に改善した。

5. 徳島赤十字病院形成外科における最近10年間の乳房外パジェット病について

HITO 病院 形成外科

○山中 健生

(5 分)

前任地の徳島赤十字病院で経験した最近10年間の乳房外パジェット病についてまとめたので、若干の文献的考察を加え報告する。

6. 縫合糸 クレヨンラピッド®の使用経験

松山市民病院 形成外科

○上村 由美子、手塚 敬、川野 貴大

(3 分)

当科では、約 2 週間で吸収されるクレヨンラピッド®を皮膚縫合に使用している。眼瞼下垂の眼瞼の皮膚縫合をはじめ、抜糸の困難な小児の皮膚縫合、全身状態は悪いが、可及的に悪性腫瘍を切除したい、再診の困難な高齢者等に使用している。症例を選べば、抜糸が不要であり、大変有効であったので報告する。

Section II (16:45~17:25)

座長:愛媛大学医学部附属病院 形成外科 森 秀樹 先生

7. 多くの合併症を持つ高齢者特殊領域熱傷の 1 例

愛媛県立中央病院 形成外科

○中川 浩志、石野 憲太郎、岡田 將誉、土居 未歩

(5 分)

症例は 77 歳女性。洗面所で熱湯のシャワーを使用中意識消失し右顔面、頭部全体、右上肢に約 11%TBSA の熱傷を受傷し当院に救急搬送された。既往歴に糖尿病、高血圧、脳梗塞とそれによる軽度の右片麻痺と認知症があったが、入院当初よりつじつまの合わない会話が続き、さらには譫妄が出現した。全身状態が落ち着いた後、計 3 回の手術を施行した。第 110 病日にリハビリのために転院となった。多くの合併症を持つ特殊領域の熱傷(手、顔面、頭部)について報告する。

8. PVL 産生型 MRSA により多発皮下膿瘍を生じた 1 例

住友別子病院 形成外科

○安藤 穂南、岡本 かよ、安井 史明

(5 分)

43 歳男性。右側胸部の小膿瘍を自覚し近医皮膚科を受診しフォローされていたが、急激な増悪を認め当科紹介受診した。当科初診時には背部から側胸部にかけて、3~10cm 程度の壊死を伴う多発皮下膿瘍を認め、外来で切開排膿・デブリドマンを行った。創部培養からは PVL(Panton-Valentine Leukocidin)産生型 MRSA が検出され、洗浄処置および抗菌薬投与により徐々に症状は改善した。形成外科領域における PVL 産生型 MRSA に関する報告は稀であり、若干の文献的考察を加えて報告する。

9. 腱露出を伴う手背皮膚欠損創に対して上腕部からの PAT 移植と全層植皮を行った 1 例

松山市民病院 形成外科

○川野 貴大、手塚 敬、上村 由美子

(3 分)

77 歳男性。仕事中に機械に巻き込まれ、右手背デグロービング損傷で当科を受診した。右手背に長母指伸筋腱露出のある皮膚欠損を認めた。保存的に加療を行い、腱露出部以外は肉芽形成が良好であったため、受傷後 18 日目に上腕部から腱上に PAT 移植と全層植皮を行った。現在術後 1 カ月で母指の屈曲伸展制限は軽度残存しているが腱と皮膚との癒着なく経過している。上腕部からの全層皮膚採取時に PAT 採取が有効であったため報告する。

10. 長期透析患者に発症した結節性偽痛風の 1 例

笠岡第一病院 形成外科¹⁾・整形外科²⁾、川崎医科大学総合医療センター 形成外科³⁾

○河村 進¹⁾、小坂 義樹²⁾、鈴木 良典³⁾

(5 分)

73 歳男性 2 年前より仙骨部に有痛性の皮下腫瘍が出現。2023 年 2 月ころから増大した腫瘍の中央に褥瘡潰瘍を形成して激痛を訴えるようになった。2023 年 3 月×日に 10×8cm 大の弾性硬な皮下腫瘍と腫瘍中央の褥瘡潰瘍を含めて切除した。透析歴約 30 年。経過と病理組織結果を報告する。

11. 1998 年 7 月 4 日、第 1 回愛媛形成外科研修会の様子

広島大学病院 形成外科

○永松 将吾、光嶋 勲

(3 分)

今回で 50 回目となる愛媛形成外科研修会の第 1 回目は、平成 10 (1998) 年 7 月 4 日に松山市成人病センター 3 階会議室 (松山市医師会・松山市柳井町) で開催された。内容は 2 部構成から成り、第一群の主題演題として愛媛県内 4 つの形成外科施設からの「各施設での縫合法」という指定発言、第二群では各施設持ち寄りの症例検討会が開催された。当時の案内チラシと不完全ではあるが発表内容のメモを紹介する。

休憩 (17:25~17:35)

総会 (17:35~17:45)

1. 次回研修会の日程

2. その他

特別講演(17:45~18:45)

座長:四国がんセンター 山下 昌宏 先生

「マイクロは身を助け、身を守る」

講師:三井記念病院 形成外科・再建外科

棚倉 健太 先生

マイクロサージャリーは一見すると垣根が高い技術である。術後も「皮弁チェック」をはじめ困難が多く敬遠される原因となる。しかし、「血管が縫える」ということは武器以外の何物でもなく、自分や患者を守る最大の防御にもなりうる。演者は4年前より中規模急性期病院に形成外科を1人で立ち上げ、自家組織を含む乳房再建を主とし、年間50例の遊離皮弁症例を子育て世代の常勤2人等で運営している。工夫点やマインドを共有したい。

略 歴

【現職】

令和 5 年 三井記念病院 形成外科・再建外科部長

日本形成外科学会専門医・指導医

日本乳癌学会評議員

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会評議員

経営管理学修士（立教大学・最優秀論文賞）

【職歴】

平成 17 年 筑波大学医学専門学群 卒業

筑波大学附属病院初期臨床プログラム

平成 19 年 筑波大学形成外科 医員

平成 20 年 いわき市立総合磐城共立病院形成外科 医員

平成 21 年 筑波大学形成外科 医員

平成 22 年 台湾 長庚（チャングン）記念醫院形成外科 留学

平成 23 年 がん研究会有明病院形成外科 医員

平成 26 年 がん研究会有明病院形成外科 副医長

平成 31 年 三井記念病院形成外科・再建外科 科長

令和 2 年 同乳腺センター 副センター長

令和 4 年 同形成外科・再建外科 部長